

令和 7 年 8 月 1 3 日
相模原市発表資料

令和 7 年上半期(1 月～ 6 月)における市内の火災及び救急の概要について

令和 7 年上半期(1 月～ 6 月)における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 火災の概要について

市内で 1 0 6 件(前年同期比 1 4 件増)の火災が発生し、死者は 4 人(前年同期比 2 人増)で、負傷者は 2 5 人(前年同期比 3 人増)です。

火災原因等の詳細は、別紙 1 のとおりです。

2 救急の概要について

救急出場件数は 2 2 , 2 7 6 件(前年同期比 1 , 4 5 5 件増)、搬送人員は 1 8 , 8 9 8 人(前年同期比 1 , 3 8 0 人増)で、共に過去最多となっています。

事故種別ごとの件数等の詳細は、別紙 2 のとおりです。

問い合わせ先

消防局 消防部 予防課(火災関係)

042-751-9117

警防部 救急課(救急関係)

042-751-9142

令和 7 年上半期(1 月～ 6 月)における火災の概要(速報値)

令和 7 年上半期(1 月～ 6 月)に市内で 1 0 6 件の火災が発生しました。火災による死者は 4 人で、負傷者は 2 5 人です。

1 火災の発生状況

(1) 火災件数は、前年同期と比べ 1 4 件の増加

火災件数は 1 0 6 件で、前年同期と比べると 1 4 件増加しています。

火災種別ごとに見ると、前年同期と比べ、建物火災は 5 6 件で 4 件増、林野火災は 0 件で 1 件減、車両火災は 1 2 件で 3 件増、その他の火災は 3 8 件で 8 件増となっています。

(2) 出火原因の第 1 位は「たばこ」、続いて「電気機器」、「火あそび」、「放火（疑い含む。）」、「配線器具」

全火災 1 0 6 件を出火原因別に見ると、「たばこ」が 1 2 件(1 1. 3 %)で 1 位、続いて「電気機器」が 1 0 件(9. 4 %)、「火あそび」が 9 件(8. 5 %)、「放火（疑い含む。）」が 8 件(7. 5 %)、「配線器具」が 7 件(6. 6 %)の順となっています。

(3) 火災による死者は前年同期と比べ 2 人増加、負傷者は 3 人増加

火災による死者は 4 人で、前年同期と比べると 2 人増加しています。

火災種別で見ると、建物火災で 4 人亡くなりました。

火災による負傷者は 2 5 人で、前年同期と比べると 3 人増加しています。

(4) 前年同期と比べ建物焼損棟数及び焼損面積は増加、損害額は減少

焼損棟数は 8 4 棟で、前年同期と比べると 5 棟増加しています。

建物の焼損面積は 3, 6 2 5 m²で前年同期と比べると 1, 7 2 9 m²増加しています。

損害額は 1 億 3, 5 4 4 万 9 千円で前年同期に比べると 4, 2 2 1 万 7 千円減少しています。

2 火災概況

項 目			令和 7 年上半期	令和 6 年上半期	増 減
合 計 (件数)			106	92	14
火災種別	建物	件 数	56	52	4
		面積(m²)	3, 625	1, 896	1, 729
	林野	件 数	0	1	△1
		面積(a)	0	2	△2
	車 両		12	9	3
	船 舶		0	0	0
	航 空 機		0	0	0
	その他	件 数	38	30	8
		面積(m²)	4, 439	10, 238	△5, 799
原因別	失 火(構成比)		83 (78. 3%)	82 (89. 1%)	1
	放火(疑い含む。)(構成比)		8 (7. 5%)	4 (4. 3%)	4
	不 明(構成比)		15 (14. 2%)	6 (6. 5%)	9
焼 損 棟 数			84	79	5
り 災 世 帯			72	52	20
り 災 人 員			153	112	41
死 者			4	2	2
負 傷 者			25	22	3
損 害 額 (千円)			135, 449	177, 666	△42, 217

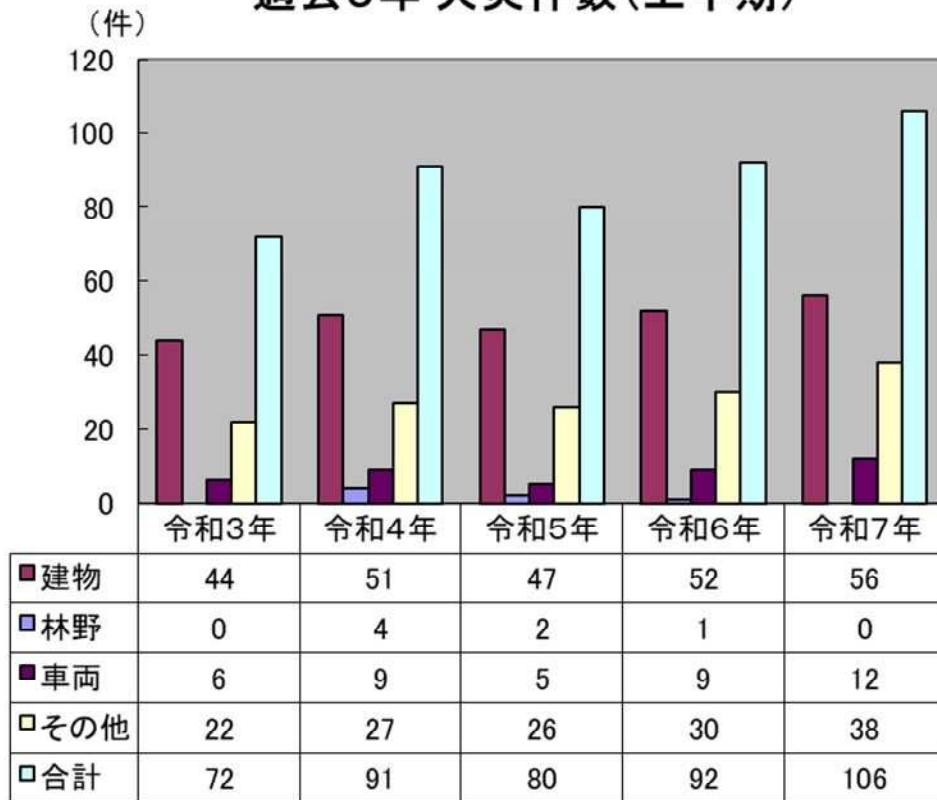
* 構成比については、小数点以下第 2 位を四捨五入
* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。

3 出火原因

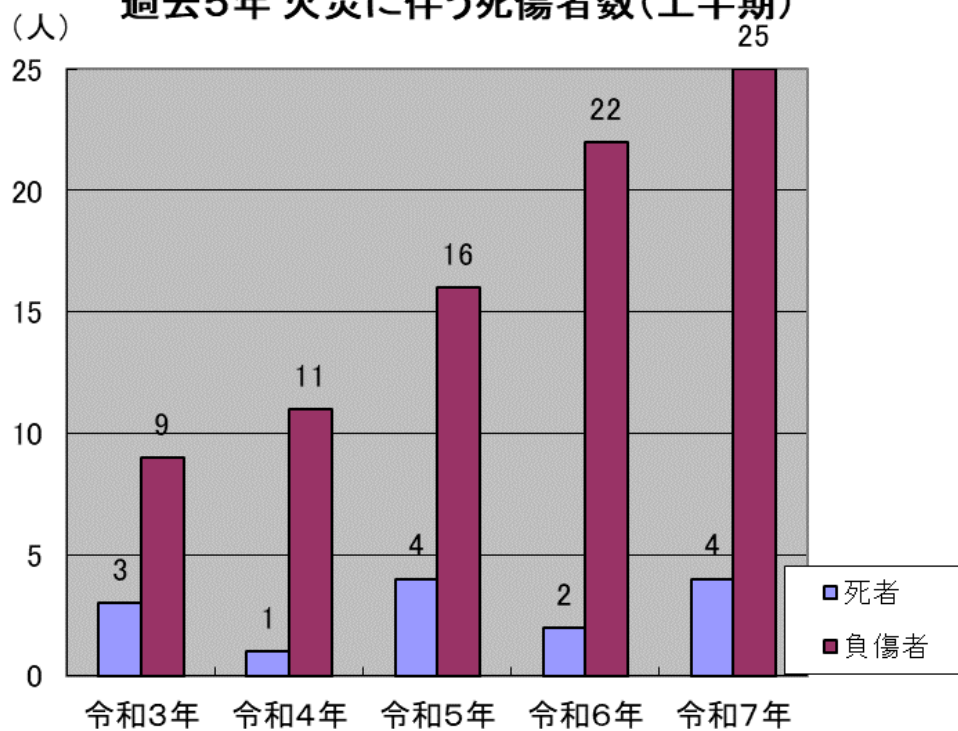
令和7年上半期 106 件			令和6年上半期 92 件		
順位	出 火 原 因	件 数	順位	出 火 原 因	件 数
1	た ば こ	12 (11. 3%)	1	こ ん ろ	11 (12. 0%)
2	電 気 機 器	10 (9. 4%)	2	た ば こ	9 (9. 8%)
3	火 あ そ び	9 (8. 5%)	3	電 気 機 器	7 (7. 6%)
4	放火（疑い含む。）	8 (7. 5%)	4	ス ト ー ブ	4 (4. 3%)
5	配 線 器 具	7 (6. 6%)		電灯・電話等の配線	4 (4. 3%)
				火 あ そ び	4 (4. 3%)
				マッチ・ライター	4 (4. 3%)
				放 火	4 (4. 3%)
そ の 他		60 (56. 6%)	そ の 他		45 (48. 9%)

* 括弧内は合計件数における構成比
* 構成比については、小数点以下第 2 位を四捨五入
* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は 100%にならない場合がある。

過去5年 火災件数(上半期)



過去5年 火災に伴う死傷者数(上半期)



令和 7 年上半期（1 月～ 6 月）における救急の概要（速報値）

救急出場件数は 22, 276 件、搬送人員は 18, 898 人で、共に増加しました。上半期として過去最多を更新しました。

1 救急業務の実施状況

（１）救急出場件数は前年同期と比べ 1, 455 件増加し、過去最多を更新

令和 7 年上半期の救急出場件数は 22, 276 件、搬送人員は 18, 898 人で、前年同期と比べ救急出場件数は 1, 455 件、搬送人員は 1, 380 人増加し、共に過去最多を更新しました。

（２）救急出場の事故種別の第 1 位は「急病」、続いて「一般負傷」、「転院搬送」

救急出場の事故種別順位としては、「急病」（15, 180 件 68.1%）が最も多く、「一般負傷」（3, 201 件 14.4%）、「転院搬送」（1, 593 件 7.2%）、「交通事故」（1, 124 件 5.0%）と続いています。

（３）65 歳以上の高齢者の搬送割合は、前年同期と比べ 0.2 ポイント減

65 歳以上の高齢者の搬送人員は、11, 160 人（前年同期比 765 人増）で、全体の搬送人員の 59.1%（前年同期比 0.2 ポイント減）となっています。

（４）軽症者の搬送人員の割合は、前年同期と比べ 0.3 ポイント増

軽症者の搬送人員は、9, 548 人（前年比 750 人増）で、全体の搬送人員の 50.5%（前年同期比 0.3 ポイント増）となっています。

2 救急概要

事 故 種 別 区 分		令和 7 年上半期	令和 6 年上半期	増減 (C)	増減率 (%)	
		(A)	(B)	(A-B)	(C/B×100)	
救急出場件数		22, 276	20, 821	1, 455	7. 0%	
傷病者搬送件数		18, 806	17, 454	1, 352	7. 7%	
不 搬 送 件 数		3, 470	3, 367	103	3. 1%	
事 故 種 別 内 訳	火 災	71 (0. 3%)	63 (0. 3%)	8	12. 7%	
	自 然 災 害	0 (0. 0%)	5 (0. 0%)	△5	△100. 0%	
	水 難	4 (0. 0%)	3 (0. 0%)	1	33. 3%	
	交 通	1, 124 (5. 0%)	1, 102 (5. 3%)	22	2. 0%	
	労 働 災 害	140 (0. 6%)	128 (0. 6%)	12	9. 4%	
	運 動 競 技	124 (0. 6%)	119 (0. 6%)	5	4. 2%	
	一 般 負 傷	3, 201 (14. 4%)	3, 048 (14. 6%)	153	5. 0%	
	加 害	86 (0. 4%)	63 (0. 3%)	23	36. 5%	
	自 損 行 為	216 (1. 0%)	209 (1. 0%)	7	3. 3%	
	急 病	15, 180 (68. 1%)	14, 168 (68. 0%)	1, 012	7. 1%	
	そ の 他	転院搬送	1, 593 (7. 2%)	1, 426 (6. 8%)	167	11. 7%
		医師搬送	4 (0. 0%)	3 (0. 0%)	1	33. 3%
		資材搬送	0 (0. 0%)	1 (0. 0%)	△1	△100%
		その他	533 (2. 4%)	483 (2. 3%)	50	10. 4%
搬 送 人 員		18, 898	17, 518	1, 380	7. 9%	
性 別	男 性	9, 635	9, 088	547	6. 0%	
	女 性	9, 263	8, 430	833	9. 9%	
程 度 別	死 亡	113 (0. 6%)	168 (1. 0%)	△55	△32. 7%	
	重 症	1, 546 (8. 2%)	1, 390 (7. 9%)	156	11. 2%	
	中 等 症	7, 690 (40. 7%)	7, 162 (40. 9%)	528	7. 4%	
	軽 症	9, 548 (50. 5%)	8, 798 (50. 2%)	750	8. 5%	
	そ の 他	1 (0. 0%)	0 (0. 0%)	1	0. 0%	
活 動	ドクターカー使用	34	64	△30	△46. 9%	
	ドクターヘリ使用	7	5	2	40. 0%	

* 小数点第2位を四捨五入

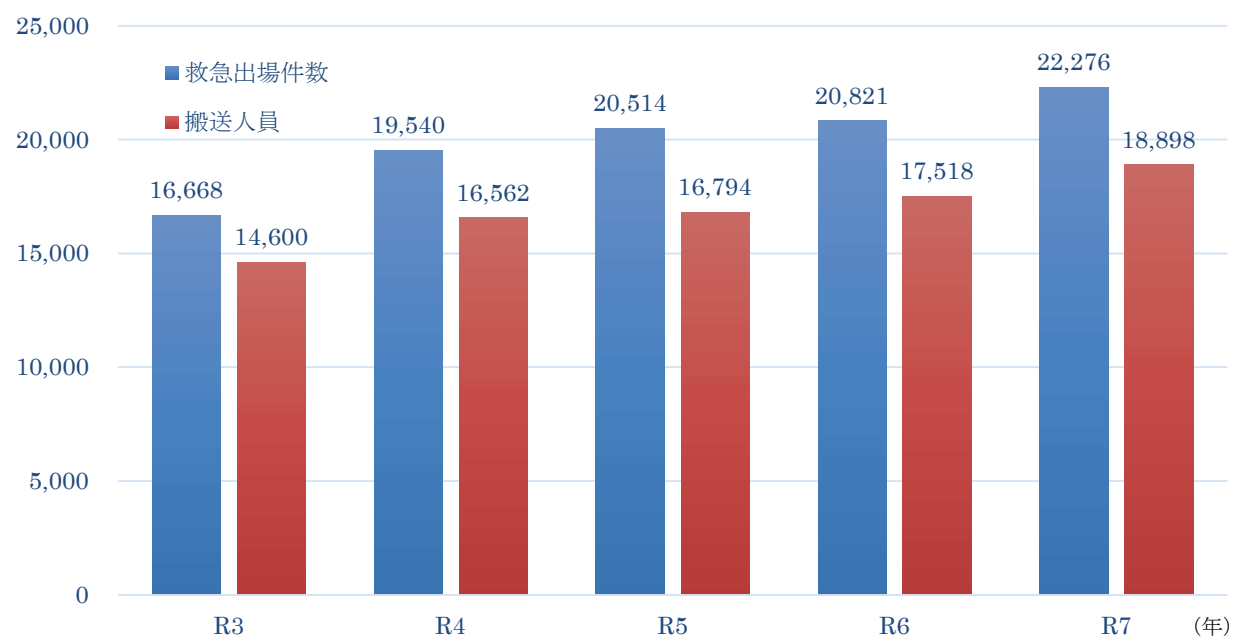
* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

* 事故種別内訳の括弧内は救急出場件数に対する割合

* 程度別の括弧内は搬送人員に対する割合

(件・人)

過去 5 年間上半期の救急出場件数及び搬送人員の推移



3 救急車の適正利用

本市における上半期の救急出場件数及び搬送人員は、共に過去最多を更新し、救急車の出場が大変多くなっています。

救える命を救うため、救急車を呼んだらよいか迷った場合や医療機関案内については、
かながわ救急相談センター（＃ 7 1 1 9）に相談してください。また、医療機関案内に
ついては、相模原救急医療情報センターでも相談可能です。

「緊急ではない」、「交通手段がない」などの場合は、相模原市消防局認定の患者等搬送事業者（有料）の利用も検討してください。

なお、「反応がない」、「呼吸がない」など緊急を要する場合は、ためらわずに 1 1 9 番通報で救急車を要請してください。

(1) かながわ救急相談センター（＃ 7 1 1 9）

【電話番号】

＃ 7 1 1 9

※市外局番「042」の固定電話からかける場合は、次の番号におかけください。

045-232-7119 又は 045-523-7119

【対応時間】

24時間365日対応可

(2) 相模原救急医療情報センター

【電話番号】

042-756-9000

【対応時間】

平日：午後5時から翌朝9時まで

土曜日：午後1時から翌朝9時まで

日曜日・祝日等・年末年始：午前9時から翌朝9時まで

(3) かながわ小児救急ダイヤル

【電話番号】

＃ 8 0 0 0 又は 0 5 0 - 3 4 9 0 - 3 7 4 2

【対応時間】

毎日：午後6時から翌朝8時まで

～救急車や救急医療は**限りある資源**です～

救急出場件数は、年々増加傾向にあります。その半数は、入院を要さない軽症の方です。「**救える命**」を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

救急車の不適正利用例

